



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ハルメクホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7119 URL <http://halmek-holdings.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宮澤 孝夫  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 石井 文範（TEL）03(6272)8222  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,253	11.7	776	△14.7	622	△24.1	412	△24.9	412	△24.9	412	△24.9
2023年3月期第2四半期	13,653	13.4	910	89.9	820	112.8	549	110.1	549	110.1	549	110.1
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2024年3月期第2四半期	38.37		36.93									
2023年3月期第2四半期	68.75		65.25									

（注）当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算出しております。

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	20,710	7,488	7,488	36.2
2023年3月期	23,097	6,482	6,482	28.1

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 一円一銭 特別配当 一円一銭

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	32,000	11.4	2,250	10.8	2,100	12.7	1,400	12.2	1,400	136.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	10,870,540株	2023年3月期	10,222,000株
2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期2Q	10,761,236株	2023年3月期2Q	8,000,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除されたことにより、個人消費が増加し、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因するエネルギー価格の高騰、資源価格や物価の高騰により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、雑誌「ハルメク」で多くの新規読者を獲得できましたが、前年同期において、ハルメク編集長の反響が大きいテレビ出演が続いた効果で非常に大きく読者数が伸びていた状況には届かず、2023年9月末時点で読者数は44万人（前年同期：48万人）となっております。

物販におきましては、「ものは少なく、暮らしは豊かに♪」という通販コアバリューを新たに定め、「ハルメク通販5つのお約束」に沿った商品をお客様にお届けしていることや、「ことせ」ブランドにおいても販促を強化しつつ、魅力的なアパレル商品でお客様の新規獲得を進めた結果、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した後におきましても、売上を伸ばし続けております。

「通販コアバリュー（ハルメク通販5つのお約束）」ものは少なく、暮らしは豊かに♪

- ① たくさんの商品から選んで頂くのではなく、「最もいいものだけ」をご提案します。
- ② 50代からの女性が「これがほしかった」と思える唯一無二のものを作ります。
- ③ 「安心して長く使える」ように、ハルメク基準で厳しく品質管理します。
- ④ 売ったら終わりではなく、皆さまのお声で改良。「ずっとご愛用いただける」ように。
- ⑤ 「もったいない」の気持ちを大切に、使わなくなったものは社会と環境のために役立てます。

上記通販コアバリューに基づき生み出した商品は、雑誌「ハルメク」読者への販売のほか、新聞広告や自社ECサイトを通じて読者以外のお客様への販売を増やすことにも成功しております。また、新型コロナウイルス感染症影響の軽減により店舗への来店客も大きく増加し、6月には店舗としては過去最高の売上・利益を更新するなど、順調に業績を伸ばしております。新型コロナウイルス感染症に関わる行動制限の解除を受け再開したリアルイベントも順調に集客が進み、直接お客様にハルメクの世界観を体験頂ける機会が増加してきたことだけでなく、コロナ禍の行動制限下において培った充実したオンラインイベント、リアルイベントとオンラインイベントを組み合わせたハイブリッド型のイベントなども実施し、オンラインにおいては首都圏だけでなく、日本全国からご参加頂いております。

さらに昨年度にリリースした、「観る・聴く・学ぶ・つながる」をテーマに、24時間・365日いつでもどこでも楽しめる月額定額制のサービスである「ハルメク365」においては、これまで雑誌で提供していた「読んで役立つ」コンテンツに加え、ファッション・美容・料理レシピ・脳トレ・エクササイズなど、毎日が楽しくなる動画を大幅に追加しております。そのほか、雑誌「ハルメク」の人気講師陣によるリアル&オンライン講座も毎月開催するなど、文字通り365日飽きることなく楽しめるコンテンツ作りに取り組んでおります。

また、5月には、新規上場で得た資金により借入金の返済を行いました。この返済により、一時的な金融費用が130百万円発生しておりますが、この返済の結果、今後発生する金融費用は従前比で大きく改善し、2023年6月以降におきましては、金融費用が年換算で1億円以上改善する見込みであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は、15,253百万円（前年同期比1,599百万円増、11.7%増）、営業利益は、776百万円（前年同期比133百万円減、14.7%減）、税引前四半期利益は、622百万円（前年同期比197百万円減、24.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、412百万円（前年同期比137百万円減、24.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上収益及びセグメント利益又は損失は社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

<ハルメク事業>

当第2四半期連結累計期間においては、深い顧客理解に基づく読者に寄り添った誌面作りにより、雑誌「ハルメク」において、引き続き過去最高水準での読者数を維持したこと、通販コアバリューに沿った、ライフスタイル提案としての商品販売が、通信販売だけでなく、店舗販売においても順調に推移したこと、個別商品の新聞広告により読者以外の顧客獲得も大きく伸ばしたことなどから、売上を堅調に伸ばすことができました。一方、下半期以降の売上伸長を企図し、新規顧客獲得のための販促コストを前倒し投下した結果、セグメント利益は前年同期比で減少しております。

以上の結果、売上収益は11,605百万円（前年同期比1,101百万円増、10.5%増）、セグメント利益は526百万円（前年同期比83百万円減、13.7%減）となりました。

<全国通販事業>

当第2四半期連結累計期間においては、アパレルを中心に魅力的なオリジナル商品を増やしたことと、積極的な新聞広告投資を行ったことにより、新規顧客獲得が順調に進み、売上を大きく伸ばすことができました。また、売上増により積極的な広告投資のコスト増を吸収し、セグメント利益も増加しております。

以上の結果、売上収益は3,804百万円（前年同期比478百万円増、14.4%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期比23百万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び資本の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,386百万円減少し20,710百万円となりました。

流動資産は2,564百万円減少し、6,715百万円となりました。主な要因は、借入金の返済等による現金及び現金同等物の減少3,152百万円、営業債権の増加136百万円、棚卸資産の増加507百万円であります。

非流動資産は178百万円増加し、13,994百万円となりました。主な要因は使用権資産の増加193百万円でありま

す。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,392百万円減少し13,222百万円となりました。

流動負債は615百万円減少し、9,617百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の増加1,020百万円、未払法人所得税の減少361百万円、借入金の減少1,002百万円等であります。

非流動負債は2,776百万円減少し、3,605百万円となりました。主な要因は、借入金の減少2,866百万円等でありま

す。

#### (資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ1,005百万円増加し7,488百万円となりました。主な要因は、有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式の発行等により資本金が304百万円、資本剰余金が286百万円増加したこと、及び親会社の所有者に帰属する四半期利益412百万円の計上によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初予想時点から大きく乖離しないものと考えており、2023年5月15日に公表いたしました2023年3月期決算短信に記載の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,036	1,884
営業債権	1,545	1,682
棚卸資産	2,295	2,803
未収法人所得税	0	3
その他の流動資産	402	343
流動資産合計	9,280	6,715
非流動資産		
有形固定資産	222	225
使用権資産	2,332	2,525
のれん	4,452	4,452
無形資産	6,291	6,253
繰延税金資産	146	146
その他の金融資産	279	308
その他の非流動資産	92	84
非流動資産合計	13,816	13,994
資産合計	23,097	20,710

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,902	1,900
営業債務及びその他の債務	3,190	4,210
契約負債	2,313	2,268
リース負債	326	450
未払法人所得税	563	201
その他の流動負債	936	585
流動負債合計	10,232	9,617
非流動負債		
借入金	2,866	—
リース負債	2,030	2,115
引当金	91	97
繰延税金負債	1,392	1,392
その他の金融負債	0	0
非流動負債合計	6,381	3,605
負債合計	16,614	13,222
資本		
資本金	1,768	2,072
資本剰余金	2,013	2,300
その他の資本の構成要素	4	4
利益剰余金	2,697	3,110
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,482	7,488
資本合計	6,482	7,488
負債及び資本合計	23,097	20,710

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益	13,653	15,253
売上原価	5,851	6,421
売上総利益	7,802	8,831
販売費及び一般管理費	6,893	8,062
その他の収益	5	13
その他の費用	4	6
営業利益	910	776
金融収益	0	0
金融費用	90	154
税引前四半期利益	820	622
法人所得税費用	270	209
四半期利益	549	412
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	549	412
四半期利益	549	412
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	68.75	38.37
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	65.25	36.93



要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	549	412
四半期包括利益	549	412
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	549	412
四半期包括利益	549	412

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本 剰余金	その他の資本の構成要素		利益 剰余金	合計	
			新株予約権	合計			
2022年4月1日時点の残高	10	364	0	0	1,448	1,823	1,823
四半期利益	—	—	—	—	549	549	549
四半期包括利益合計	—	—	—	—	549	549	549
株式に基づく報酬取引	—	—	1	1	—	1	1
その他変動額	—	△0	—	—	0	△0	△0
所有者との取引額等合計	—	△0	1	1	0	1	1
2022年9月30日時点の残高	10	363	2	2	1,998	2,374	2,374

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本 剰余金	その他の資本の構成要素		利益 剰余金	合計	
			新株予約権	合計			
2023年4月1日時点の残高	1,768	2,013	4	4	2,697	6,482	6,482
四半期利益	—	—	—	—	412	412	412
四半期包括利益合計	—	—	—	—	412	412	412
株式に基づく報酬取引	—	—	1	1	—	1	1
新株予約権の行使	14	14	△0	△0	—	28	28
新株の発行	290	272	—	—	—	563	563
所有者との取引額等合計	304	286	0	0	—	592	592
2023年9月30日時点の残高	2,072	2,300	4	4	3,110	7,488	7,488

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	820	622
減価償却費及び償却費	336	430
金融費用	90	154
営業債権の増減額 (△は増加)	△186	△138
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△117	△507
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	628	1,043
契約負債の増減額 (△は減少)	297	△45
未払賞与の増減額 (△は減少)	30	△170
その他	△48	△138
小計	1,850	1,250
利息及び配当金の受取額	0	0
利息及び優先配当金の支払額	△107	△15
法人所得税の還付額	193	0
法人所得税の支払額	△364	△563
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,571	670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13	△15
無形資産の取得による支出	△178	△183
その他	13	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400	1,900
短期借入金の返済による支出	△430	—
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△201	△5,892
株式の発行による収入	—	609
償還条項付優先株式の償還による支出	△1,000	—
リース負債の返済による支出	△205	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436	△3,595
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	955	△3,152
現金及び現金同等物の期首残高	964	5,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,920	1,884

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(第三者割当による新株式発行)

当社は、2023年4月19日を払込期日として、みずほ証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式367,200株の発行を行いました。この結果、資本金が290百万円、資本剰余金が272百万円増加しております。なお、当該新株発行に関連した取引コストの金額は17百万円(税効果考慮後)であり、資本剰余金から控除されております。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「ハルメク事業」及び「全国通販事業」の2つの事業を事業セグメント及び報告セグメントとしております。当社グループでは、これらの報告セグメントに属するサービスの全て又はその一部を行う単位で株式会社として組織化しており、各セグメントに属する組織の財務情報を集計することによって、各報告セグメントを評価しております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
ハルメク事業	シニア女性向け雑誌「ハルメク」の出版・通信販売事業「ハルメク」・広告事業・イベント等の文化事業・新聞単品外販・店舗等
全国通販事業	シニア女性向け通信販売事業「ことせ」・広告事業等

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法について、連結財務諸表との主な調整の内容は以下のとおりです。なお、セグメント情報は、社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

また、セグメント間収益は、市場価格を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

## ① 代理人取引の相殺消去

当社グループは、広告事業の一部として、法人顧客へ、広告取扱業者への取次を含めたコンサルティングサービスを提供しております。履行義務に代理人として関与する行為が含まれている場合には、その取扱金額は収益より控除されますが、セグメント収益の算定上、総額で記載しております。

## ② 収益認識時点の修正

当社グループは、通信販売事業を行っております。IFRSでは履行義務を充足した時点、すなわち、顧客に商品を引渡した時点で収益として認識されますが、セグメント収益の算定上、商品の出荷時点で収益として認識しております。

## ③ のれんの償却

IFRSでは、認識したのれんについて償却を行わず、年に一度又は減損の兆候が存在する場合にはその都度、減損テストを行うことを要求しておりますが、セグメント利益の算定にあたっては連結子会社が会社法上認識しているのれんについて、20年で償却した費用を計上しております。

## ④ 無形資産の償却

当社は企業結合により、無形資産として顧客関連資産等を認識しております。当該無形資産について見積耐用年数に従って償却が行われますが、セグメント利益の算定にあたっては償却費を計上しておりません。

## ⑤ 非金融資産の減損による影響

当社は企業結合の際に、全国通販事業セグメントの使用権資産及び無形資産について減損を行っており、IFRSでは当該減損した使用権資産及び無形資産に関連する減価償却費及び償却費が計上されておりません。セグメント利益の算定においては、これらの資産にかかる賃借費用及び償却費を計上しております。

## ⑥ その他調整額

その他には、上記以外の調整項目が含まれております。

## (3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	全国通販事業	計		
売上収益					
外部収益	10,487	3,260	13,748	△94	13,653
セグメント間収益	16	65	81	△81	—
売上収益合計	10,504	3,325	13,829	△176	13,653
セグメント利益(△は損失)	610	△5	605	303	908

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	全国通販事業	計		
売上収益					
外部収益	11,592	3,742	15,334	△81	15,253
セグメント間収益	13	61	75	△75	—
売上収益合計	11,605	3,804	15,409	△156	15,253
セグメント利益	526	17	544	224	769

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

## (4) 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

## ① 売上収益

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメント計	13,829	15,409
調整額		
セグメント間取引消去	△81	△75
①代理人取引の相殺消去	△49	△41
②収益認識時点の修正	△11	△11
⑥その他調整額	△33	△29
調整額合計	△176	△156
売上収益	13,653	15,253

## ② セグメント利益から税引前利益への調整表

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメント計	605	544
調整額		
②収益認識時点の修正	△5	△7
③のれんの償却	249	209
④無形資産の償却	△144	△144
⑤非金融資産の減損による影響	71	7
⑥その他調整額	133	160
調整額合計	303	224
合計	908	769
その他の収益	5	13
その他の費用	4	6
営業利益	910	776
金融収益	0	0
金融費用	90	154
税引前利益	820	622

## (5) 製品及びサービスに関する情報

「(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報」の中で同様の開示をしているため、記載を省略しております。

## (6) 地域に関する情報及びセグメントごとの資産の金額に関する情報

当社グループにおける売上収益は全て本邦のものであり、また、当社グループの非流動資産は全て本邦にあることから、地域ごとの情報は省略しております。

## (7) 主要な顧客に関する情報

単一の外部顧客との取引による売上収益が当社グループの売上収益の10%を超えるものはありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。